



新しいコミュニティ・ネットワークの姿 50年後のネット社会とは？

ハイパーネットワーク社会研究所設立10年を振り返りながら

日時: 2003年
8月29日(金)~30日(土)

会場: **29日**
大分全日空ホテルオアシスタワー
(大分市高砂町)
30日
ソフトパーク・ソフィアホール
(大分市東春日町)

主催: 財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

共催: 大分県
財団法人大分県産業創造機構
CANフォーラム
国際大学GLOCOM

後援: 総務省、経済産業省
(予定) 朝日新聞社、大分合同新聞社、西日本新聞社、
日刊工業新聞社、日本経済新聞社、
毎日新聞社、読売新聞社西部本社、
NHK大分放送局、OBS大分放送、
TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、
OCT大分ケーブルテレコム、
共同通信社、時事通信社

協賛: アライドテレシス
西日本電信電話
富士通
日本電気



新しいコミュニティ・ネットワークの姿 50年後のネット社会とは?

1990年3月、「25年後の未来のネットワーク社会は
どうなるか?」をテーマに、「ハイパーネットワーク日出
会議」を開いた。そこで私たちは「バーチャル・リアリティ」
がネット社会の最先端の技術として登場する可能性を
はじめて知った一方、自分たちがその創造の主体とな
るコミュニティ・ネットワークこそが未来社会の主流に
なることを確信した。ハイパーネットワーク社会研究
所に至る流れは、ここで伏流から地上に登場し、1993
年3月、ハイパーネットワーク社会研究所は、大分を本
部として、通商産業省・郵政省(当時)の認可を得て正
式発足し、「ハイパーネットワーク社会の構築」を主た
る理念・かつ実践テーマとして活動を続け、今年満10
年を迎えた。

その後、「ハイパーネットワーク日出会議」は「ハイパー
ネットワーク別府湾会議」と名称を改めてほぼ隔年に
開催して、今回で8回目となる。この間議論してきたテ
マには、「グループウェア」、「バーチャル・コミュニティ」、
「インターネット」、「ネティズン」、「ブロードバンド・コ
ミュニティ」などが含まれ、アメリカ、カナダ、韓国、香港、
シンガポール、フランス、スウェーデン、ドイツなどから
も参加を得て、国際的な広がりをもってきた。

ハイパーネットワーク社会研究所は、95年から97年
にかけて大分で「マルチメディア地域実験」を展開、そ
の後2000年からは「豊の国ハイパーネットワーク」の
基本構想の策定、大分県内の自治体の情報化に関す
るコンサルティング、大分県内のNPOのIT化支援など、
より地域に根を下ろした活動を展開して今日にいたっ
ている。

今回の別府湾会議は、ネットワーク社会について、こ
れまでの十年余りの
歩み、われわれがもっ
ていたビジョンと現実
の展開の検証を行い、

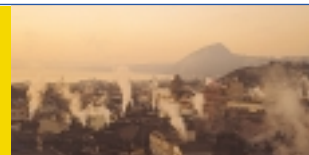
その上で今後10年・20年・・・50年の技術と社会の進
化を大胆に展望し、それぞれが何をなすべきか、何が
できるかを問い直す場としたいと考える。

具体的には、モバイル・無線アクセスの爆発的な普
及によって社会がどう変わるのかを、ハイパーネットワ
ーク日出会議の基調講演から連続5回参加し、最近では『ス
マートモブス』(日本語訳・NTT出版より8月末刊行)
の著者として高く評価されているハワード・ラインゴー
ルド氏(『バーチャル・リアリティ』、『バーチャル・コミュ
ニティ』の著者)、ニューヨーク大学の研究者で、ニュー
ヨーク市内に無料の無線LANを立ち上げた「NYCワ
イヤレス」の創業者でもある、アンソニー・タウンゼン
ド氏らを招いて、議論する。

また、韓国から電子自治体を研究する世宗研究所の
高選圭氏を招き、市民主体の電子自治体の歩みと行
政改革の推進について学ぶ。

その上で、モバイル、ブロードバンド、地域ネットなど
の展望を、各分野の第一人者から語っていただく。夜は、
モバイル&ワイヤレスの利用面、文化と哲学に的を絞っ
た大胆な討論を若手論客を中心に展開する。

二日目は、現在の日本の地域ネットワークが直面して
いる現実的な課題について、地域の情報インフラ・地
域IX構築、行政改革と電子自治体の構築・運用、市民
活動とネットワーク活用、などについて掘り下げて、地
域の実情に基づいた次への展望を討議し、発見してい
く機会としたい。地元大分で県内58市町村中54市町
村(2003年5月現在)を高速回線で接続した「豊の国
ハイパーネットワーク」の現状、市としては全国ではじ
めてDSLを提供しようとしている津久見市などの事
例も紹介する予定である。



第1日
8/29(金)

大分全日空ホテルオアシスタワー会場

PM1:00 ~

オープニング
大分県知事 広瀬 勝貞

セッション 1 < グローバルな未来ビジョン >
スマートモブス Next Social Revolution ハワード・ラインゴールド
コミュニティにワイヤレスを NY の試み アンソニー・タウンゼント
韓国の電子自治体と電子民主主義 高選圭

セッション 2 < これからの10年・20年..50年... >
コアラから見てきたもの / ブロードバンドの展望 / モバイル社会の展望 / ネット社会の課題など

交流会 << 未来ビジョンを語ろう!! >>

セッション 3 < スマートモバイル社会の展望 >
パネル討論: 『ウェブ、ブログ、モブログ・・・』 / 日本を変えよう / Moblogの世界 / 情報自由論

注: 「ブログ」/ ウェブログ = Weblog の略で、アメリカから始まった、だれでも簡単にウェブ出版ができ、リンクを重ねて広がっていく新しい形のオンラインジャーナリズム。
「モブログ」= 「モバイル+ブログ」の略で、カメラ付携帯で撮影した写真を活用、いつでもどこでも、モバイル環境からブログを展開する、より機動的な個人出版とグループ活動。

夜なべ談義



第2日
8/30(土)

ソフトパーク・ソフィアホール会場

AM8:45 ~

セッション 4 < 地域ネットの現実と展望 >
豊の国ハイパーネットワークの現状報告 / 電子自治体の取組み /
自前ネットの取組み / ネット技術からみた未来 / オープンコラボと市民活動 ほか

オプション・ツアー(希望者のみ / 参加費[夕食共]: 1万円 + 宿泊費)

30日午後発 津久見市のADSL事業計画を中心に、離島や関係施設の視察、津久見市の市民や行政関係者との交流会を予定。

(宿泊は別府市鉄輪温泉を予定)



海外ゲスト(確定)

ハワード・ラインゴールド(『バーチャル・コミュニティ』著者・米国)

最新作『スマートモブズ』(NTT出版・8月末刊行予定)で、ケータイを活用する若者に始まる新しいグローバルな潮流を鋭く分析、さらにP2P、評判システム、ユビコンプなどの新技術が新しい社会と文化をどう生むかを、深く思考し、期待と警鐘を同時に与えてくれる。

アンソニー・タウンゼンド(ニューヨーク大学 タウブ都市研究センター)

NYC(ニューヨーク・シティ)ワイヤレスという、無線LANをコミュニティで無料で共有する運動を推進する、都市計画専攻の気鋭の若手研究者で、韓国のデジタル都市計画にも関与

高選圭(Go Seon-Gyu 世宗研究所・韓国)

韓国の代表的な研究機関の研究者で、電子民主主義、電子自治体はどう展開されているかを中心に、IT分野を研究。日本語の論文も多数。

国内の発表者(一部予定・順不動)

- 東 浩紀(国際大学GLOCOM)
 荒野 高志(インテック・ネットコア)
 伊藤 穰一(ネオテニー)
 尾野 徹(コアラ)
 杉井 鏡生(インフォメーション・コーディネーター)
 関根 千佳(ユーディット)
 高木 治夫(みあこネット)
 中村伊知哉(スタンフォード日本センター)
 丸田 一(国際大学GLOCOM) ほか多数



- *ハイパーネットワーク社会研究所より
 公文 俊平(国際大学GLOCOM)、宇津宮孝一(大分大学)
 会津 泉(アジアネットワーク研究所) ほか

参加対象:インターネット、情報通信関係の企業、行政、教育、福祉などの関係者、市民利用者

参加人員:300名程度を予定

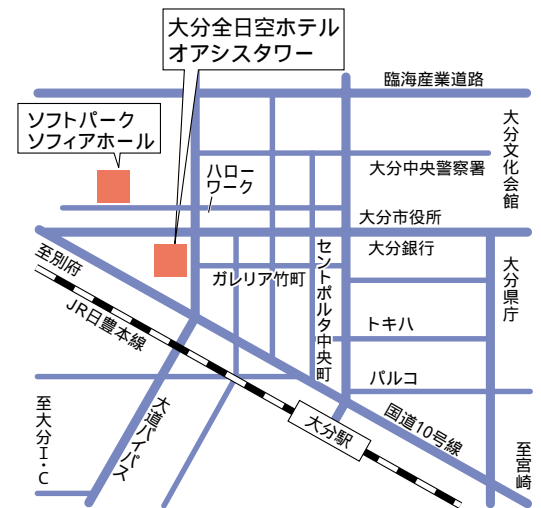
参加費(税込):

- ・初日目参加料 5,000円(資料代含む)
- ・2日目参加料 5,000円(資料代、昼食代含む)
- ・交流会費 5,000円
- ・夜なべ談義 2,000円

参加申込み方法

所定の参加申込項目を記入いただき、ファックスまたはe-mailにてお申し込みください。定員に達し次第締め切らせて頂きます。

会場のご案内



大分全日空ホテルオアシスタワー
 〒870-0029 大分市高砂町2-48 Tel.097-533-4411(大代表)
 ソフトパーク・ソフィアホール
 〒870-0037 大分市東春日町51-6 第2ソフィアプラザビル2F
 Tel.097-533-0220

交通のご案内

- ・JR大分駅より徒歩約8分
- ・九州横断自動車道、大分ICより車にて約7分
- ・大分空港より、ホーパークラフトにて約30分。ホーバー基地よりタクシーにて約10分。
- ・大分空港より、特急バス「エアライナー」にてJR大分駅まで約60分。
- ・なお、上記2会場間は、徒歩約5分です。



この会議は、オートルースの補助金を受けて開催いたします。

事務局 財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

www.hyper.or.jp post@hyper.or.jp

〒870-0037 大分市東春日町51-6 第2ソフィアプラザビル4F

Tel.097-537-8180 Fax.097-537-8820